

11月 絵本であそぼ!

■0歳児

◇絵本『おくちはどーこ』

今月は『おくちはどーこ』を読んできました。「さっちゃん、さっちゃん、おくちはどーこ、どこでしょね」で始まり、顔のいろいろな部分を当てていく絵本です。顔の部分表現するときに、「ぷんぷくおはな、ぴんぴらおみみ、」と、個性的な擬音も動物に合わせて表現しており、リズム感があって歌うように読めるのも楽しさの一つです。子ども達も、自分の目や鼻、口を指でさしたり、絵を触りに来たり、大人目や耳を触りに来たりして楽しんでます。描かれている絵も優しくて、子どもと一緒に「〇〇はどーこ？」と遊びながら楽しめる絵本です。

●1歳児

◆絵本『うずらちゃんのかくれんぼ』『かくれんぼももんちゃん』『ぐるぐるちゃん』

今月は、『うずらちゃんのかくれんぼ』『かくれんぼももんちゃん』『ぐるぐるちゃん』のごっこあそびを楽しんできました。

『もういいかい』『まあだだよ』『もういいかい』『もういいよ』『どこにかくれているのかな』『みつけた』『みつかっちゃった』の一連のやりとりが楽しくて「もういいかい」と何度も繰り返し遊んで楽しみました。子どもたちがうずらちゃんになって、ひよこちゃんをさがしているとカエルが現れ、お堂さんの段差からカエル跳びをして遊んだり、ひよこちゃんと一緒に追いかけてっこをしたりしてかくれんぼあそびに少しだけお話をつけて遊んできました。

先日のことです。保育士より先に登園していたはるまくんとここはさんがつい立の後ろに隠れ、保育士を驚かそうとしている姿がありました。その遊びが他の4人にも広がっていきました。始めはおとなと一緒に遊び、探して楽しんでいた子どもたちでした。今は自分が隠れる立場に立ち、友だちと共有して発展してイメージの世界を広げていっています。

●2歳児

◇絵本紹介『こんたのおつかい』

お母さんにおあげを買ってくるように頼まれたきつねのこんたはお母さんに「通ってはいけません」という森の道を通ってお店まで行ってしまい、天狗やおに、おばけに出あい怖い目に合ってしまう。逃げて逃げて無事、お店にたどり着くのですが、怖かったあまり「おあげください」を「おばけください」と言ってしまったこんたです。こんたの言い間違いが面白くて子ども達も笑っています。

きつねうどんを作ろう

クラス会では、お父さんお母さんと一緒に『こんたのおつかい』ごっこを楽しみました。皆でこんたになっておあげを買いに出かけました。木の実を拾ったり、お花を見たりしながら、いつ天狗がでてくるかとちょっとドキドキしながら歩いている子、隠れるのが楽しくてワクワクしながら歩

いている子とそれぞれでしたが、無事お店屋さんに着いた時には、間違わずにしっかり「おあげください〜」とどنگりのお金を払って上手にお買い物をしていた子ども達でした。そして園に戻り、おあげを煮てきつねうどんにして食べました。

親子でのごっこ遊びを子ども達もとても楽しんでくれたのではないかと思います。参加いただいた保護者の方からの温かい感想もありがとうございました。



◇絵本紹介『さんびきのこぶた』

3びきのこぶたの兄弟が自立するために自分の家を建てます。一番上の兄さんぶたはわらの家、二番目の兄さんぶたは木の家、そして末っ子ぶたはレンガの家を作ります。そこへオオカミがやってきて家を吹き飛ばしてこぶたを次々に食べていきます。しかし、レンガの家は吹き飛ばず、最後はおおかみはこぶたに食べられてしまうという原作に近いお話です。

ダメばい！！カギしめるもん

子ども達がこぶたになり、保育士がおおかみになって遊びました。おおかみになった保育士が「こぶたこぶた、中へ入れておくれ」と声色を変えていうと、「イヤだよ〜イヤだよ。カギしめるもん！！」とカギまでしめる子ども達。カギを閉めてしまうところは絵本には無く子ども達の発想から生まれたやりとりで面白いなと思いました。

おおかみが吹き飛ばすと「キャ〜」と言いながら走って逃げていきます。時々逃げ遅れたこぶたを捕まえると「ダメ！！あっちいけ」「たすけるバイ！！」「おおかみやっつけろ〜」と本気で向かってくるおおかみより勇ましいあんずこぶた達でした。体がポカポカになるくらい走り回って楽しみました。

●3歳児

■絵本『こすずめのぼうけん』の紹介

母すずめから、飛び方を教えてもらったこすずめは、巣から飛び立ち冒険に出かけます。「ぼく、ひとりで飛べる！世界中も見て回れる！」と自信満々に飛んでいくのですが、疲れて母すずめの元に帰りたくなります。カラスやハトの巣を見つけ休ませてもらおうと「僕、チュンチュンってきり言えないんですけど、あなたの仲間ですか？」と尋ね、「仲間じゃない」と断られ、淋しさと不安が大きくなっていく場面では、こすずめの気持ちを感じてか、子ども達も静かに見入っています。最後は、探しに来ていた母すずめと出会い、母すずめの背中に乗って帰っていきます。自立したいと頑張るけれど、でも時々疲れておかあさんにも甘えたい。そんなこすずめの姿がまつぼっくりの子ども達と重なる心温まるお話です。最近甘えてばかり・・・なんて思っている時の親子での読み聞かせにぜひお勧めです。

ぼうけんにいこう



絵本を読み終わり「みんなも冒険に行こう！」という「チュンチュン・・・」と羽をパタパタさせこすずめになりきって出発しました。あっちに行こう、こっちには坂道があるよ。とみんなでジャンプをしたり…ちょっと難しい道を選んで乗り越えていく子ども達でした。途中で“かあかあ”とカラスが飛んでくると、少し疲れた子ども達は「少し羽をやすませてもらえませんか？」と尋ねるとカラスが「かあかあかあって言えますか？」と聞くと「僕たち、ちゅんちゅんちゅんてしか言えないんです…」と少し寂しそうに答え絵本の言葉を覚えてやり取りを楽しみました。

◆4・5歳児

絵本『チリとチリリ』の世界

りんご組の時から憧れていた冬合宿。段々寒くなるにつれて、子ども達の中から「もうすぐ冬合宿？」「ぶどうさんは、行くんでしょう？」と冬合宿の話題が出始めてきました。「行きたいの？」と聞き返すと「行きたい！行きたい！」と楽しみでたまらない様です。「冬合宿の準備って何かあったかな？」という、「毛糸でなんか作らんばん」「前のぶどうさん、作ってたもん」「私のお姉ちゃん持ってるよ」と去年のぶどうさんの事をよく覚えていたようです。そこで、何を作っていたのか前のぶどうの先生に聞いてみると「冬合宿行のチケットを入れる、ポシェットを編んでいた」という事が解り、「私たちも編みたい」と子ども達から要望が出たので、皆で冬合宿に向けてポシェット編みをすることにしました。でも、毛糸がありません。「どうしよう・・・」「私のおこずかいで買ってこようか・・・」「家にあるかもしれない!!」など色々な意見がでまいました。そんな時に『ふゆじたくのおみせ』から『ふゆじたくのお店、八竜のお山に本日開店。たくさんの毛糸を取り揃えて待っています。値段はドングリ5個です』という手紙が届きました。そこで、さっそくドングリ5個集めて、お山まで毛糸を買いに出かける事にしました。

途中にも、大きなドングリや小さなドングリが沢山落ちていてドングリ拾いを楽しみながら、無事に『ふゆじたく』のお店に到着し、念願の毛糸を買う事ができました。「途中きつかったね。でも毛糸を買いたいから頑張った」と毛糸を買えた喜びと、達成感を味わっていた子ども達でした。

今、『ふじたくのおみせ』で買った毛糸で、冬合宿に思いをはせながら、ポシェット編みに夢中の子ども達です。どんなポシェットが出来るか楽しみです。

